

## MV-22 オスプレイ墜落事故に対する意見書

米ハワイ州オアフ島のペローズ空軍基地で5月17日午前11時40分頃（日本時間18日午前6時40分頃）、訓練中の米海兵隊の垂直離陸型輸送機MV-22 オスプレイが墜落炎上し乗員が死亡する事故が発生した。

事故機は普天間飛行場に配備されている24機のオスプレイと同機種であり、これまでも米海兵隊のMV-22 オスプレイは着陸失敗等の事故を再三繰り返し、開発段階から事故が相次ぎ、数十人が犠牲となったことから安全性をめぐり機体構造の欠陥が指摘され、沖縄県内、普天間飛行場に配備することに強く反対された機体である。

普天間飛行場に配備されたことにより嘉手納基地への飛来も頻繁に行われ、町域上空を飛び交うだけに今回の墜落は町民の恐怖心をかきたてている。

我が嘉手納町の現状は、基地内には大型の空中給油機が多数駐機しており、西には燃料貯蔵庫があり、また東には弾薬庫を抱えるなど最も危険な状況であり、常時危険と隣り合わせにある。

ハワイでのオスプレイ墜落事故から一夜明けた19日、事故原因も究明されないまま、普天間飛行場の同機種が訓練したことへの不安や、事故をハードランニング（激しい衝撃を伴う着陸）と称しているが地面にたたき付けられ、炎上し跡形もなく焼け焦げた事故も着陸と言い張り矮小化する等、米軍の対応は基地周辺で暮らす町民の不信感を増大させている。

このような中、米軍用機の安全性への不安が一段と強まると同時に、危険度の高い町域に万が一墜落する事故となれば住民を巻き込む大惨事となることは必至である。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに解決するよう強く要求する。

### 記

1. MV-22 オスプレイ墜落事故原因の徹底究明と公表。
2. MV-22 オスプレイの嘉手納町域及び近隣上空での訓練、飛行を禁止すること。
3. 過重な米軍基地負担、訓練を見直すこと。
4. 日米地位協定の抜本的見直しを図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年5月29日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣  
外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長 沖縄県知事

## MV-22 オスプレイ墜落事故に対する抗議決議

米ハワイ州オアフ島のペローズ空軍基地で5月17日午前11時40分頃（日本時間18日午前6時40分頃）、訓練中の米海兵隊の垂直離陸型輸送機MV-22 オスプレイが墜落炎上し乗員が死亡する事故が発生した。

事故機は普天間飛行場に配備されている24機のオスプレイと同機種であり、これまでも米海兵隊のMV-22 オスプレイは着陸失敗等の事故を再三繰り返し、開発段階から事故が相次ぎ、数十人が犠牲となったことから安全性をめぐり機体構造の欠陥が指摘され、沖縄県内、普天間飛行場に配備することに強く反対された機体である。

普天間飛行場に配備されたことにより嘉手納基地への飛来も頻繁に行われ、町域上空を飛び交うだけに今回の墜落は町民の恐怖心をかきたてている。

我が嘉手納町の現状は、基地内には大型の空中給油機が多数駐機しており、西には燃料貯蔵庫があり、また東には弾薬庫を抱えるなど最も危険な状況であり、常時危険と隣り合わせにある。

ハワイでのオスプレイ墜落事故から一夜明けた19日、事故原因も究明されないまま、普天間飛行場の同機種が訓練したことへの不安や、事故をハードランニング（激しい衝撃を伴う着陸）と称しているが地面にたたき付けられ、炎上し跡形もなく焼け焦げた事故も着陸と言い張り矮小化する等、米軍の対応は基地周辺で暮らす町民の不信感を増大させている。

このような中、米軍用機の安全性への不安が一段と強まると同時に、危険度の高い町域に万が一墜落する事故となれば住民を巻き込む大惨事となることは必至である。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに解決するよう強く要求する。

### 記

1. MV-22 オスプレイ墜落事故原因の徹底究明と公表。
2. MV-22 オスプレイの嘉手納町域及び近隣上空での訓練、飛行を禁止すること。
3. 過重な米軍基地負担、訓練を見直すこと。
4. 日米地位協定の抜本的見直しを図ること。

以上、決議する。

平成27年5月29日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官  
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長